



presentation

未来のゆめは みんなのゆめ

「第16回ゆめ大会」(主催:生涯学習100年構想実践委員会、共催:多賀城ロータリークラブ)は2月6日、市民会館で行われ、約180人が来場しました。

市立小中学校の各校代表10人が「未来のゆめ」を発表。やってみたいこと、目標としている人、なりたい職業や理想の町など、思い描く将来の夢を語りました。

発表者が堂々と語る姿に、来場者は大きな拍手を送っていました。



参加者の声

遠藤道子さん(72) 笠神
皆さんの素晴らしい夢を聞くことができ、とても感動しました。自分を見つめて、将来の夢を語る姿がよかったです。

memorial ceremony

追悼と復興への願いを込めて 忘れないあの日の記憶

「東日本大震災多賀城市追悼式」は3月11日、市民会館で行われ市民が献花に訪れました。また「第10回多賀城・万灯会～鎮魂の灯～」(主催:NPOゲートシティ多賀城主催)も同日、JR仙石線多賀城駅前広場で行われました。

万灯会では、灯明皿と「3.11」の文字に並たキャンドルの灯りが日没とともに浮かび上がりました。キャンドルの紙コップは、昨年度市内の中学生などが書いたもので、「負けるな」、「風化させない」、「感謝」など復興への思いが込められています。来場者は、灯りを静かに見つめていました。



school

卒業式 新たな旅立ちへ

「東豊中学校第34回卒業式」は3月6日に行われ、104人が卒業しました。

最終学年をコロナ禍で過ごした卒業生。学校行事の中止や縮小を余儀なくされましたが、心を一つにして、学校生活を送ってきました。この日を迎え、それぞれが新たな一歩を踏み出します。

令和2年度の市立学校卒業生は中学校548人、小学校560人でした。ご卒業おめでとうございます。



卒業生の声



佐藤要多さん(15) 笠神
中学校の3年間はたくさん思い出があります。先生方はいつも心の支えになってくれて、卒業生一同感謝の気持ちでいっぱいです。



参加者の声



門脇 恵理香さん 陽奈子ちゃん 栄
震災の詳しい話がとてもためになりました。地震の時は、子どもを守ることを一番に考えて行動したいです。

event

大切な家族を守るために 親子で減災・防災を考える

「すくっぴー親子DE減災・防災」は3月18日、子育てサポートセンターで行われました。講師は東北大学災害科学国際研究所の柴山明寛准教授。

参加者は、東日本大震災の浸水区域の様子をスライドで見たり、子どもと避難するときのポイントをクイズで学んだりしました。

また、もしもの災害に備え、子どもがいる家庭のための非常持ち出し品リストを熱心に確認していました。

tradition

語り継ぐ3.11の記憶 次代への伝承

「かたりつぎ～朗読と音楽の集い～」(共催:東北大学災害科学国際研究所、かたりつぎ仙台実行委員会)は3月6日、市民会館大ホールで行われ市内外から約400人が来場しました。

第1部では「多賀城の今昔」をテーマにした講演、「みちのく震録伝の取り組み」の報告、塩釜コカリナ合奏団による演奏がありました。第2部では、岩手、宮城、福島で被災した7人の記憶を、俳優・竹下景子さんがピアノと馬頭琴の演奏をバックに朗読。抑揚のある語り目に目を押さえる人の姿も見られました。



参加者の声



高橋紀子さん 東田中
第1部のコカリナの演奏は素晴らしく、第2部のかたりつぎも音楽と語りがマッチして真に迫るものがあり、とても感動しました。

sports

今シーズン開始 ソニー仙台FCホーム戦初勝利

ソニー仙台FCは3月18日、市役所に訪れ、新シーズンの意気込みや抱負を報告しました。新キャプテンには吉森選手が起用されました。

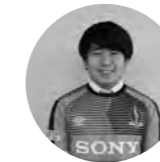
3月21日に行われた初のホームゲームは緊急事態宣言により、超厳戒態勢試合として行われました。観客は人数制限があり、応援は自粛されましたが、松江シティFCに対して3対0と、大差で勝利。これからの活躍に期待が膨らみます。

開幕戦のハイライトをYoutubeで公開しています▶



写真:ソニー仙台FC提供

キャプテンの声



新キャプテン 吉森恭兵さん(26)
自分の良さ、強みを全面に出しながらキャプテンとして頑張りたいです。優勝を目指して今シーズンも頑張ります。